

# 2018 年度特定非営利活動法人あだたら青い空事業計画書

## 1. 理事会・事務局

NPO法人の取り組みを活性化させるためには、財政も大事ですがスタッフの増員が特に大事です。2018 年度は、会員を始め多く皆様のご支援とご協力をいただき、各分野のスタッフの増員をはかることを重点に活動を発展させていきたいと考えています。そのために、各種ボランティアスタッフの活動内容を明確に示して、積極的にあだたら青い空のスタッフになっていただく努力をしたいと思います。また、あだたら青い空の活動をより一層積極的に宣伝したいと思います。

## 2. フリースクール青い空と不登校の保護者の交流会

ア、フリースクール青い空は、不登校の子どもの「居場所」として引き続き開設します。

イ、宣伝や学習会の実施などにより利用者の増加を図ります。スタッフの増員、支援内容の充実と改善を図ります。毎月の利用者数を 5 名以上とします。

ウ、フリースクールを現在開設している二本松市岳温泉以外の他の地域にも開設することを展望して、その条件を整えます。

エ、訪問支援も積極的に実施します。

オ、不登校の保護者の交流会の開催や日常的な教育相談活動については、さらに積極的に実施します。保護者の交流会については、話し合いによる交流だけでなく、ハイキングや食事会などによる交流も行います。

## 3. こども食堂ハラクッチー

ア、こども食堂ハラクッチーは、室内での調理や交流だけでなく、ディキャンプの実施、農業体験、ハイキング、町内会との交流などを積極的に実施します。毎回 30 名の参加を目標にします。

イ、スタッフの増員や助成金の確保によって、安全管理の徹底や内容の充実を図ります。

ウ、こども食堂の参加者が、さらに積極的にこども食堂の運営に関われるようにします。

## 4. 森のようちえん&がっこう

ア、森のようちえん&がっこうの宣伝と参加者の増加を図ります。毎回 5 名以上の参加を目標とします。

イ、スタッフの増員や助成金の確保によって内容の充実を図ります。

ウ、農業体験やキャンプなどの宿泊を伴ったイベントを検討し実施します。

## 5. リフレッシュハイキング

ア、リフレッシュハイキングは、避難地域の現状を見ると、避難者の交流促進や健康増進のためますます重要になっています。ハイキングの内容を一層充実させるとともに、持続的な取り組みをしていきたいと思っています。毎回の参加目標を 20 名とします。

イ、ハイキングの計画や実施まで、できる限り多くの被災者にも参画してもらい、より自主的な取り組みにしていきたいです。

ウ、ハイキングへの参加者をさらにひろげるために復興住宅などへのチラシ配布をします。

エ、ハイキングを被災者だけでなく、地域住民との交流促進につながるように一般の人の参加も増やします。

オ、ハイキングを 1 つの契機に災害公営住宅での交流促進イベントなどの取り組みを検討します。そのために、ハイキングのスタッフの増員や助成金の確保を図ります。

4/22	三春町まちなかお花見ハイク
5/27	大滝根山ツツジハイク
6/24	南会津の清水ヒメサユリと大内宿ハイク
7/8	裏磐梯・小野川湖不動滝と檜原湖畔ハイク
8/3~5	十和田湖奥入瀬ハイクと青森市ねぶた祭り
9/24	会津まつりと戊辰戦争歴史ハイク
10/13~14	山形・山寺と紅葉川溪谷、銀山温泉紅葉ハイク
11/23	白河・日本一遅い山開き天狗山ハイク
12/9	ハイキング忘年会
1/12	郡山市初詣ハイク（予定）
2/23	福島市四季の里いちご狩りハイク（予定）
3/23	いわき勿来の関 歴史ハイク（予定）

## 6. ウォーキング

- ア、参加者とともに計画作りをして、魅力あるウォーキングコースを設定します。
- イ、ウォーキングは持続的な実施とともに、参加者が住んでいる地域の再発見につながるコースなども検討します。
- ウ、地域の方の参加を増やし、様々な交流促進を図ります。昼食会なども行い、交流を深めます。

## 7. 学習支援事業

新たな事業として、様々な理由から「学校の勉強についていけない」子どもの学習支援事業を検討します。現在、学校での教える内容の増加や過密カリキュラムのために「学校の勉強についていけない」子どもが増えています。そうした子どもを支援する態勢が不十分であり、多くは「落ちこぼし」の状態となっています。学習障がいを持った子どもや経済的な理由で学習塾に通えない子どもは行き場がありません。こうした子どもの学習支援を検討します。

具体的には、平日の夕方 2 時間程度で、公民館を利用して、算数・数学と英語を基本に学習支援を行います。

この学習支援には、不登校の子どもや学習障がいの子どもも参加できるものとします。また学習支援以外にも、こども食堂への参加やキャンプの実施も検討します。スタッフは学生のボランティアを募集し、助成金の確保を図ります。

## 8. その他の事業

- ア、「青い空ニュース」の毎月の定期発行を維持し、「読者の声」を反映させるなど、内容の充実を図ります。
- イ、「ハラクッチーニュース」や「ハイキング案内」などにも参加者の声は反映させて、充実させます。
- ウ、あだたら青い空のホームページの一層の充実を図るために、専門スタッフを募集します。